

都市再生整備計画 事後評価シート  
隈府中央地区

平成25年12月

熊本県菊池市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	熊本県		市町村名	菊池市		地区名	隈府中央地区			面積	208		
交付期間	平成20年～平成24年		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	1,581	国費率	0.391				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路(都)隈府中央線、市道大琳寺木庭橋線、市道互高野瀬線)、地域生活基盤施設(市民広場、ポケットパーク整備(中央通り、御所通り、切明、横町)、案内・情報サイン)、高質空間形成施設(道路修景整備事業(切明碑方線(中町、下町、切明)、迎町北宮線、栄町正観寺線、正院町温泉通線、西正菊高線)、公園花壇整備事業)									
			提案事業	国際交流促進事業、まちなか居住支援事業、空き家・空き店舗活用事業、菊池市老人福祉センター、足湯のまち温泉送水計画設計事業、(仮)子育て世代活動支援センター、市民広場既存施設解体事業、観光交流ガイドライン策定事業、まちなか居住推進ガイドライン策定事業、空き家・空き店舗対策調査事業、事業効果分析									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名 ・市民広場整備 ・ポケットパーク整備(中央通り、御所通り)			削除/追加の理由 ・「市民広場」:懇談会、庁内ワーキングにおいて、整備方針の見直しが進められ、期間内に実施する事が出来ないため削除 ・「ポケットパーク」:用地確保が出来なかった事や計画見直しに対する地元合意に至らず、事業実施を削除			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 ・交流による賑わいの再生、おもてなし空間の創出による回遊性の向上に関連する事業であり、指標が持つ課題と併せて、指標の見直しを実施(平成24年3月第1回変更)			
			提案事業	・子育て世代活動支援センター整備事業 ・まちなか居住支援事業			・平成21年不測の事態により当該施設移転が発生したため削除 ・当該事業にかかる支援制度の利用がなかったため削除			・別途、施設を整備しているため、影響なし ・間節的な効果となる事業であるため、影響なし			
	新たに追加した事業		基幹事業	・街路灯設置事業(隈府中央線、温泉街)			・歩行者ネットワークの整備にあわせ、温泉街らしい景観の演出、都市環境の向上、及び歩行者の安全性を確保するため追加			・魅力ある暮らしの場に関連する事業であり、指標が持つ課題と併せて、指標の見直しを実施(平成24年3月第1回変更)			
			提案事業	なし			—			—			
交付期間の変更		当初	平成20年～平成24年		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—						
		変更	なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	主要な交流施設利用者数	千人/年	227.8	H20	190.0	H24	モニタリング	評価値	○	あり なし	人によるにぎわいの創出やイベント実施により利用が促進された。	H27.3
	指標2	居住環境満足度	ポイント	0.24	H20	0.39	H24	—	0.07	×	あり なし	● 多様な施設の立地、回遊道路等により一定の効果は発現している。しかし、商店街の利便性、公共交通利便性の低下により目標未達成と考えられる。	H27.3
	指標3	歩行者交通量	人/日	177	H19	212	H24	—	193	△	あり なし	● 回遊道路や空き店舗対策等により従前値より増加。ただし、市民広場整備の延期により目標未達成と考えられる。	H27.3
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	「公園・広場などの憩いの場」に対する満足度	ポイント	-0.43	H20			—	-0.28			ポケットパーク整備や市民広場における公園花壇整備等により、満足度が高まった。	
	その他の数値指標2	「もてなし空間歩行者空間」に対する目標達成度	ポイント	0	H20			—	0.44			交流・滞留空間が生まれる面的なひろがりをもった歩行者ネットワークの形成が進んでいる。	
	その他の数値指標				H20			—					
4)定性的な効果発現状況	<p>・空き店舗活用等における市民活動開催、地元自治会によるポケットパークの清掃活動、温泉街街路灯の維持管理など、市民主体のまちづくりの機運の創出や展開へ結びついている。</p> <p>・ポケットパーク整備の実施にあたっては、「くまもとアートポリス」との連携による整備が実施され、視察が実施されるなど、市民及び市外の関心を得ている。また、菊池市のPRとなっている。</p> <p>・回遊道路の整備により、まちなかの道路空間が軽トラ朝市のイベント会場として利用しやすくなるなど、半日間で約2,000人の集客効果を創出。道路(ハード)整備にあわせ、その活用(ソフト)策を講じることで、人によるにぎわいの形成につながる。</p>												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		平成22年9月～11月にかけて、外国人観光客数、指標内容についてモニタリングを実施。結果、事業の見直しや指標が持つ問題を踏まえ、「外国人観光客数」→「主要な交流施設利用者数」、「ふれあいプラザ利用者数」→「居住環境満足度」へ変更				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 必要に応じて、適宜モニタリングと同様に定期的に観光客数及び庁内統計資料による主要な交流施設利用者数により確認する		
	住民参加プロセス		まちづくり懇談会(市民広場整備事業)、まちづくり懇談会(観光交流ガイドライン策定事業)、まちづくり懇談会(ポケットパーク整備)、隈府中央線整備協議会				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 「市民広場整備」:住民ワークショップにおいて、広場の方向性、整備方針や整備機能の検討を進める。「ポケットパーク整備、隈府中央線整備」:維持管理について、市民と協働して取り組んでいく。		
	持続的なまちづくり体制の構築		「菊池千年の風」(既存団体連携)「栄町婦人部」温泉街まちづくり協定部会(既存団体連携)				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				引き続き組織(地元住民)との協働の取り組みを進める。		

様式2-2 地区の概要

限府中央地区(熊本県菊池市) 都市再生整備計画の成果概要								
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値		
<b>大目標: 観光拠点と生活拠点が一体となったまちづくり</b> 目標①: 「人」を中心とした「水と緑」、「歴史(文化)」、「国際」交流によるにぎわいの再生 目標②: 多様な機能を有する、魅力ある暮らしの場所の形成 目標③: 人と人、各種拠点施設を有機的に結びおもてなし空間の創出		主要な交流施設利用者数 単位: 千人/年	227.8	H20	190.0	H24	198.7	H24
		居住環境満足度 単位: ポイント	0.24	H20	0.39	H24	0.07	H24
		歩行者交通量 単位: 人/日	177	H20	212	H24	193	H24
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p><b>まちづくりの目標</b></p> <p>※回遊道路を活用したイベントの様子</p> <p>老人福祉センター</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>限府中央線</p> <p>上町線回遊道路</p> <p>市民広場</p> <p>公園花壇</p> <p>温泉街</p> <p>西正菊高線</p> <p>正院町温泉</p> <p>大琳寺</p> <p>迎町</p> <p>切明</p> <p>北原</p> <p>高野瀬</p> <p>大丸寺</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>上町線回遊道路</p> <p>※国際交流促進事業と関連した事業の様子</p> <p>限府中央線</p> </div> </div>								
<p>・国際交流の推進(新たな文化の創出)が図られている。また、ポケットパーク整備において、アートポリス熊本との連携を図るなど、温泉街菊池としての魅力の創出が進んでいる。他方、菊池の交流拠点となる菊池市民広場については、にぎわいの強化に向けて整備を進める必要がある。</p> <p>・各種事業実施において、市民参加が行われ、市民主体のまちづくりを展開するなど、人と人との連携によるにぎわい・活力の向上が図られている。また、それに伴う地域コミュニティの形成にもつながり、住む「場」としての魅力の創出が進んでいる。今後さらに人と人との連携によるにぎわいと高めるため、また市民広場、商店街、温泉街の特徴を活かすため、市民(商店街、温泉協会、地元住民他)の連携の構築を図る必要がある。</p> <p>・菊池市老人福祉センター、ひだまり(子育て支援センター)の整備により、高齢者が安心して暮らせる環境づくりや地域住民の交流・余暇活動が達成できる場づくりが進んでいる。他方、中心市街地周辺の店舗立地が進み、当該地区に訪れる人が減少している。</p> <p>・(都)限府中央線、回遊道路、ポケットパークの整備により、安全・安心、回遊性に優れた歩行者ネットワークの整備が進んでいる。しかし、一方で道路の段差解消により、車のスピードアップや路上駐車増加につながるなど、歩行者の危険性が増したとの意見が出るなど、問題も発生している。</p> <p>・まちなか居住にむけた機運の創出が図られているが、まちなか居住は思うように進んでいない。今後は、人口減少等の社会情勢を踏まえ、本市全体での取り組みを検討する必要がある。</p>								
<p>・イベントやお祭りの開催をはじめ、外国人観光客誘致に向けて、市として目指すべき方向性が形になってきた。これからは、これらを持続するためのイベントの継続や新規検討を進める。また、市民への広報等により、市民自らが本地区の資源を案内できるような取組みを進めるなど、国際交流の推進や新たなにぎわい創出に向けた取組みを進める。</p> <p>・空き店舗活用によるイベントの実施、軽トラ朝市など、市民主体のまちづくりを継続的に展開する。また、各種まちづくり団体との連携による新たなにぎわいの発見など、人と人との連携によるにぎわいを高めていく。</p> <p>・老人福祉センター、子育て支援センター等、公共施設集積が進んでいる。今後も、中心市街地に多様な都市機能を集積させることで、菊池市の活力やにぎわいを牽引する拠点整備を進める。</p> <p>・街路灯や案内板の整備(平成24年度残事業)を進め、安全・安心・快適な歩行者空間の形成を進める。</p> <p>・市民広場、市役所、商店街、温泉街など拠点機能の強化とその連携を進め、各種拠点を結び回遊性の高い歩行者ネットワークの整備を継続的に整備していく。</p> <p>・市民との協働のもと、市民広場の整備を進め、自然、文化、温泉、新しい魅力を活かしたにぎわいの創出を進める。特に、市民広場を起点に、菊池の文化や豊かな水と触れ合うことのできるよう、市民広場、温泉街、商店街を回遊できるように交流・滞留機能の創出や歩行者ネットワークを整備する。</p> <p>・高齢化、長引く不況等の影響から生鮮食品店が閉店するなど、商店街の魅力が低くなっているため、引き続き空き地・空き店舗活用に向けた取り組みを進める。取組みにあたっては、住民主体のまちづくりを展開し、地区住民が愛着をもった利便が高く魅力的な商店街の活性化に向けた施策を展開していく。</p>								